



空間から委任された パフォーマンスとしての制作 ——ウィーン分離派会館にて

Yuki Okumura, 'Site-Delegated Performance as Working Method: Project Report from Secession, Vienna'



特別講義 5月28日(水) 14:50~16:20
レクチャー B ホール

奥村雄樹

1978 年青森生まれのアーティスト／翻訳者。ブリュッセル在住。言語や記憶や偶然を活用することで個人の輪郭の溶解や自我の貧弱の打開を画策する。それによってコンセプチュアル・アートや制度批判やアクション・ペインティングといった枠組みの再編と更新に関与する。主な個展に「Yuki Okumura」(セセッション | ウィーン | 2025 | グループ展「Big White Playground」を内包)「136 Locations – 956 Intersections」(20 Albert Road | グラスゴー | 2024)「彼方の男、儚い資料体」(慶應義塾大学アート・センター | 2019 | 東京)「Na(me/am)」(Convent | ゲント | 2018) など。二人展に「奥村雄樹による高橋尚愛」(銀座メゾンエルメスフォーラム | 2016) など。グループ展に「u – New Project Spaces」(Kunsthalle Zurich Backrooms | チューリッヒ | 2024)「November」(港区東麻布 2-12-4 信栄ビル 1F | 2023 | 東京 | N.E. One &c. のメンバーとして)「Aichi Triennale 2022」(愛知芸術文化センター)「Jahresgaben 2021」(Bonner Kunstverein | ボン)「生きる寄す処としての地すべりならびに／あるいは死ぬほど素っ気ない面構えの舌ども」(MISAKO & ROSEN | 東京 | 2021)「Un-Scene III」(WIELS 現代美術センター | ブリュッセル | 2015)「六本木クロッシング 2013」(森美術館 | 東京)「反重力」(豊田市美術館 | 2013)「MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる」(東京都現代美術館) など。

油画研究室